

思い出の写真シリーズ

第13回

第16回飯水陸上競技大会総合優勝の思い出

長野市陸上競技協会
監事 外谷俊男

昭和53年長野国体開催予定のため41年頃から、中学校では各地区大会が盛んになった。

私は、41年に豊田村(現中野市)豊井中学校に転任。専門の保健体育教師がいなく、非免許の私が2時間を担当する体育主任になり、他3名の職員と9学級の生徒を受け持った。翌42年、第16回飯水中学校陸上競技大会に出場のため、早朝1時間持久力運動と放課後1時間30分種目別メニュースケジュールののっとり、各学年から選抜された選手と練習に励んだ。特に長期休み・祝祭日・休日は長野市審判員の高橋恒和氏と山本晴雄氏に依頼して直接技術指導を受けた。また、地元の三井氏と山浦さんに長距離とハードルの指導も受けた。



第16回飯水中学校陸上競技大会 総合優勝(男女)昭和42年6月10日

その結果、小林幸子は、走り巾跳び5m5cm・高橋朋義は、走り巾跳び5m75cmという記録を出し、飯水は勿論、県大会第1位になる。男女共リレー優勝、ハードル、長距離にも優勝できた。

このように多くの良き指導者に恵まれ、学校・保護者・選手らがひとつになり研さんしたおかげで、7つのカップを頂くというすばらしい成績を納めることができた。

陸上はすべてのスポーツの基本、心・技・体がた

ゆめめ練習と努力により、「継続は力なり」という言葉のような結果が生まれたのである。校長を始め職員の方から祝福されたことを今でも、昨日のことのように思い出される。このときの祝酒の一杯はうまかった。

この感激が忘れられず、その後長野市陸協に席を置き、審判員として、46年間各種大会に参加した。およそ年間25回ぐらい選手の活躍する姿を見て、一喜一憂している。

自分の体力と気力の続く限り、この仕事を続けていきたいと願っている。

編集後記

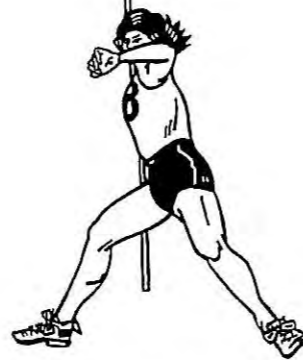
広島の男子駅伝、NHK全国放送、時あたかも12時12分スタート間近である。テレビはアップで、各県の監督や関係者を写し出していた。左側から右側へ、その瞬間、長野県の佐久長聖高の西角速先生の大欠伸がいやでも、この眼に入った。タイミング悪く、今年の連続優勝はこの時点で消え去ったのである。大変お疲れの様でありました。だからこわい、テレビは生放送だから～、決してこの様子を全国に放送したNHK関係者に苦情は言えない感じ。また、人ごとではなく、自分にも気を付ける反省の心でした。

今年も伊那の高校駅伝が開催されまして、全国のつ

わもの共が参加、良い刺激を受けたものと考えます。東京マラソンは都合で応援できず、けれど第62回びわ湖毎日マラソン大会の応援には参加できました。朝から上気度、初夏を感じる18℃の中のスタート。日本人トップは6位の久保田満、旭化成、記録は今イチでした。大阪の世界陸上、代表選手決定はもめそうです。3月は総会やその他多忙の毎日。今回も忙しい中、会報の原稿等、ご協力を頂き、深く感謝致しております。競技役員の方、新年度目指して大会に頑張ってください。

平成19年3月
広報部長 若松軍蔵

SHINANO MATE
REGISTERED TRADE MARK



ATHLETIC UNIFORM

株式会社 **しなのメイト**

〒389-0606 埴科郡坂城町大字上五明992-2
PHONE (0268) 81-1336
FAX (0268) 81-1337



題字の“動き”は長野市陸協三代目会長 山浦保氏の書で、山浦会長の頃、市陸協会報紙として何号か発行されていました。

長野市陸協会報

第16号

平成19年3月20日

発行所 長野市陸上競技協会
発行人 浦野義忠
編集人 若松軍蔵

市長表敬訪問

長野市駅伝部 キャプテン 前島啓一

昨年の11月27日、先に行なわれた第55回長野県縦断駅伝の結果報告のため、鷲沢市長を訪問致しました。選手は持ち前の力を出し切り、スタッフの支えも万全で「優勝」という最高の報告をすることができました。

チームとしては最高の結果でしたが、個々に振り返ると、まだまだ反省すべき点、改善すべき点があり、今年の県縦断駅伝の連覇に向けて冬期の走り込みはそ

れを克服すべく十分にしてきました。この冬は雪も少なく、また、故障者もなく、満足のいく冬期トレーニングができました。また、春のレースシーズンに向けての練習計画は、鍛練期から試合期への準備段階に入ったところでした。

練習環境については、鷲沢市長をはじめ、長野市教育委員会体育協会の皆様、長野市陸協の先生方のご支援を頂き、整備して頂いてますことを心より感謝申し上げます。

今後この感謝の気持ちを選手全員が忘れることなく、まずは5月の市町村対抗駅伝8連覇、そして秋には県縦断駅伝の2連覇を報告できるよう目標に向けて練習をしていきます。

これからもご支援、ご声援、宜しくお願い致します。



栄章受賞おめでとうございます

長野市陸協から次の8名の方々がそれぞれの賞を受賞されます。

《日本陸上競技連盟関係》
安藤百福章 白田昭次

《長野陸上競技協会関係》
功労章 三條俊彦
指導者功績章 足立洋美
山田憲一

勲功章

《長野市体育協会関係》
功労章 早川千吉郎
勲功章 山田雄司
早川恭平
中田倭菜

山田雄司(佐久長聖高校)
早川恭平(裾花中学)
中田倭菜(桜ヶ岡中学)

役員改選現体制で決定される

3月11日市陸協定時総会において、19、20年度の役員が決定されました。主なところでは、副会長に寺島氏、副理事長に白田、柴澤氏が加わり、専門部では、記録部長に、若手の下條氏が選出されました。以下は次のとおりです。

- | | |
|---------|---|
| 会長 | 伊藤利博 |
| 副会長 | 依田邦夫・山本晴雄・藤本勝彦・寺島大士 |
| 理事長 | 浦野義忠 |
| 副理事長 | 白田昭次・柴澤英男・北島正孝 |
| 総務部長 | 北原勲 副〃 村田修一・矢野清隆 |
| 経理部長 | 大竹義雄 副〃 碓井真 |
| 広報部長 | 若松軍蔵 副〃 土川国人 |
| 情報部長 | 渡辺誠一 副〃 山田昭彦・永井俊彦 |
| 記録部長 | 下條正紀 副〃 尾田美恵子 |
| 競技部長 | 戸谷直喜 副〃 小林靖志・正村寿満子 |
| 審判部長 | 西片功 |
| 副 | 山口豊・鈴木文雄 |
| 施設用器具部長 | 山田栄一郎 |
| 副 | 早川幸 |
| 普及強化部長 | 早川孝一 |
| 副 | 山田良徳・斎藤和彦・長田貴 |
| ジュニア部長 | 竹内万祐 |
| 副 | 古田新造・前島睦美・仁科香苗 |
| 駅伝部長 | 田中哲広 |
| 副 | 市川武・芳川千恵・玉城良二 |
| 理事 | 小口正行・依田良春・矢野清隆・山田昭彦・鈴木文雄・三條俊彦・内山了治・古田新造・中澤次生・碓井真・長田貴・土川国人・西内勉・早川幸・杉本宗保・村田修一・小林靖志・玉城良二・早川千吉郎・市川武 |
| 監事 | 外谷俊男・平出勲 |
| 顧問 | 古澤久四郎・高橋恒和 |

平成19年度長野市陸協日程

- 4月 8日(土) 新会員歓迎会
- 4月15日(日) 第9回長野マラソン・第3回車いす
- 4月28日(土) 信州大・名古屋大対抗陸上大会
- 4月29日(日) 第94回長野市内高校春季陸上大会
- 5月 3日(木) 第11回北信地区記録会
- 5月11日(金) ~13(日) 第118回北信高校陸上競技大会
- 5月20日(日) 第38回長野市身障者大会
- 6月 2日(土) 第46回北信中学陸上競技大会
- 6月 3日(日) 第24回北信小学生大会
- 6月16日(土) 第14回中学混成大会
- 6月22日(金) 第1回理事会
- 6月23日(土) 第49回三大学体育大会陸上競技の部
- 7月21日(土) ~22(日) 第53回長野県中学通信陸上競技大会
- 7月26日(木) ~27(金) 第21回J.R東日本陸上・駅伝大会
- 8月24日(金) 第2回理事会
- 8月25日(土) ~26(日) 第49回北信陸上選手権
- 9月 1日(土) ~ 2(日) 第60回長野県陸上競技選手権
- 9月14日(金) ~16(日) 第119回北信高校新人陸上競技大会
- 9月23日(日) 第35回長野県中学新人陸上東北信大会
- 9月28日(金) ~30(日) 第36回長野県高校新人陸上競技大会
- 10月 6日(土) 第12回北信地区記録会
- 10月 7日(日) 第21回飯綱マラソン
- 10月14日(日) 第11回長野マスターズ長野市大会
- 10月21日(日) 第95回長野市内高校秋季陸上大会
- 10月28日(日) 第34回NAGANOスポーツフェスティバル
- 11月 8日(木) 県縦断駅伝壮行会
- 11月11日(日) 2007キッズRAN
- 11月29日(木) 祝勝会 忘年会
- 2月22日(金) 第3回理事会
- 3月 9日(日) 総会

陸上クラブ紹介

No. 13

松代高校



今日陸上競技部が活動できるのも、陸上競技部を理解し、ご協力いただいている方々、また先輩方の残した伝統のおかげであると感じます。選手が今後も向上心や克己心を磨き、日々練習に励み、競技者として、また人間として更に成長するよう指導していきたいと思ひます。また、選手達が冬季練習をやり抜き、力をつけた成果を今年のシーズンに生かすことを期待しています。

松代高校 陸上競技部 顧問 下條正紀

こんにちは、松代高校陸上競技部顧問の下條と申します。横谷先生、中沢先生、内山先生と歴代顧問の先生より引継ぎ、現在は私が指導させていただいています。

部員数は新3年生が3名、新2年生が10名の計13名と少なく、新1年生の入部を期待しているところです。人数は少ないのですが、個々の目標に向けて朝、放課後と毎日練習に励んでいます。練習環境が良いとは言えませんが、グラウンドや学校隣の公園、外周、白鳥神社に向かう坂道などが練習場所であり、今ある環境を最大限に利用して練習しています。

近年の陸上競技部の成績は、平成17年度は女子走高跳で千葉インターハイに出場、同種目で北信越高校新人大会2位、平成18年度は男子走幅跳で国民体育大会(兵庫県)に出場、同種目で北信越高校新人大会8位などが主な成績です。また、上位の大会に出場できなくても、自分の目標を達成している選手が多く、皆力をつけています。駅伝やリレーは人数が少ないため出場するのがやっとの状況ですが、除々に強化していきたいと考えています。

新シリーズ 市陸協を支えてくれる方々

その 1

清水屋旅館様



お孫さんとつるく清水ご夫妻

清水屋旅館様と長野市陸協とのお付き合いは、長野陸協の事務局が、松本から長野市に移った時からですので、かれこれ20年もの歳月が流れていると思います。毎年理事会等の会議では、大変お世話になっておりますが、商売ゆきにした清水ご夫妻の暖かな心遣いにより、有難く使わせていただいております。これからもお世話になりますが、よろしくお願ひします。

「伝統の力に魅せられて」

長野市陸協会報への記事の依頼をいただき、「陸協さんを支える」などとの筆を取るのもはずかしく、原稿用紙に向かってひるえています。感想として書きます。

私共は、家業を通じてのお手伝いをさせていただいておりますが、陸上競技協会の活動、働きを外部から見ておると、その活動の源は何なのかと考えてしまい、本当に頭の下がる思いです。

その源は、おひとり、おひとりの方のそれぞれの立場役割での使命感と努力によるものであり、同時に相互の信頼による団結にあると思ひます。

若い時の先輩の熱心な指導を思い後輩の指導にあたる姿、朝早くから夜遅くまで、はつらつと活動し

ている姿、集まりでのいつまでもつきることのない話し合う姿等、どれひとつをとっても大変で並大抵なことではありませんが、永い伝統の中に繰り返される若い力を育て、組織を維持させることへの気持が皆様方の中に脈々と流れ循環し、その皆様の力の結集が数々の成績、業績に表われているように感じます。

この信頼と団結があつてこそ、とぎれもなく次へ申し送れるもので、それが伝統の力と魅せられてしまいました。

縁あつて陸協さんの会報へ十何年ぶりかへのたな作文を書きましたが、心より長野市陸上競技協会のさらなるご発展とご活躍を祈つております。

清水屋旅館 主人 清水翔太郎

第120 ホープさん

長野吉田高校2年 穂刈賢一郎

私が高校に入学して陸上競技を始めて、もう2年が経とうとしています。1年生の頃は、本当に自分がこの環境で伸びていけるのかということが不安で、先生やコーチからのアドバイスを素直に受け入れることができませんでした。しかし、秋の岡山国体で思うような結果が残せず、その悔しさで冬期練習は、コーチと共に走り方を変えていきました。だけども思うように走れず、練習が嫌になったりもしました。そんな時、先生や家族の励ましが支えになってくれました。冬はあっという間に過ぎ、シーズンを向かえました。走り方も少しずつ変わり、先生やコーチへの信頼感は強くなっていきました。それと共に、競技の成績も段々と伸びていきました。私は先生方の事を信じていることがいかに大事かを学びました。

また、今年の私の目標は、インターハイで入賞することです。インターハイでまず入賞する為には、予選から自己ベストを出していかなければなりません。そのためには技術面もそうですが、心の面が大きいです。私は自分自身に心のブレーキをかけてしまうことがあります。この心のブレーキをかけないようにする、つまり自分で自

分に壁を作らないことが最も重要だと思います。そのためには、浦野先生がいつもおっしゃっている1日1日の練習に悔いを残さないようにしたいです。

あともう少しで私の高校生活最後のシーズンが始まるとうとしています。まだ走りは未完成ですが、まずは、自分を信じ、3年間お世話になった先生やコーチ、両親に1つ1つの大会で感謝の気持ちを込めて走り、最後インターハイでは最高の恩返しができるようにしたいです。

1日1日の生活を大切に、また、楽しみながら励んでいきたいと思ひます。応援よろしくお願ひします。

